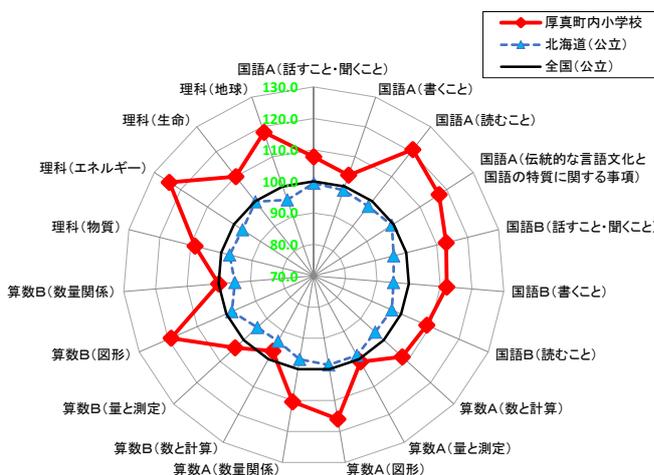


厚真町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:47人)

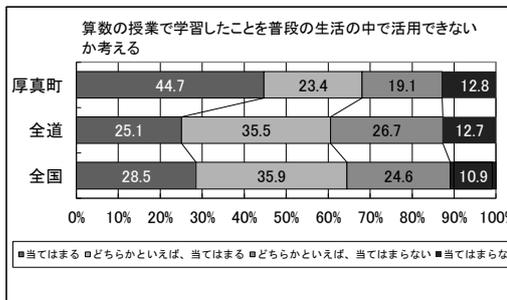
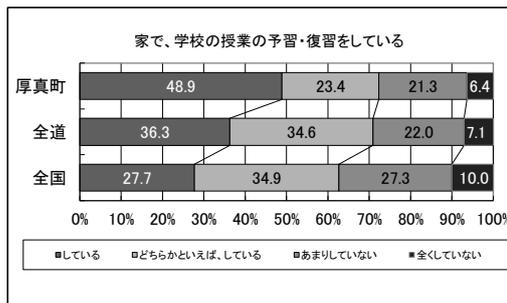
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

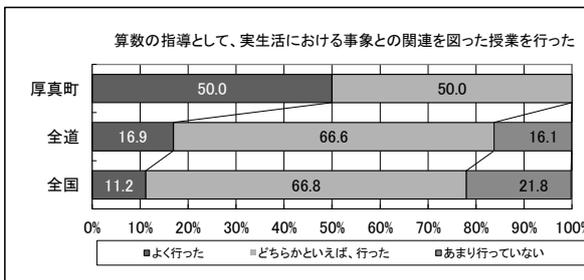
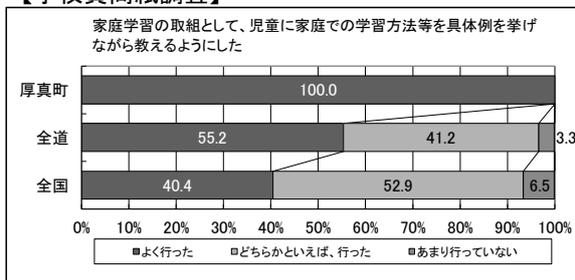
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・B、算数A・B、理科において、全国を上回っている。 ○ 国語A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、全ての領域、Bでは、「量と測定」「図形」で全国を上回り、「数量関係」で全国と同じである。 ○ 理科では、全ての領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、算数の授業において、実生活における事象と関連を図った指導の工夫を行ったことにより、児童は、算数で学習したことを普段の生活の中で生かそうとするようになり、成果が上がっていると考えられる。 ○ 学校が、家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体例を挙げながら指導したことにより、児童は、家庭学習で授業の予習・復習に取り組むなど、主体的に学習に取り組むようになり、学力の定着が図られていると考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答している。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

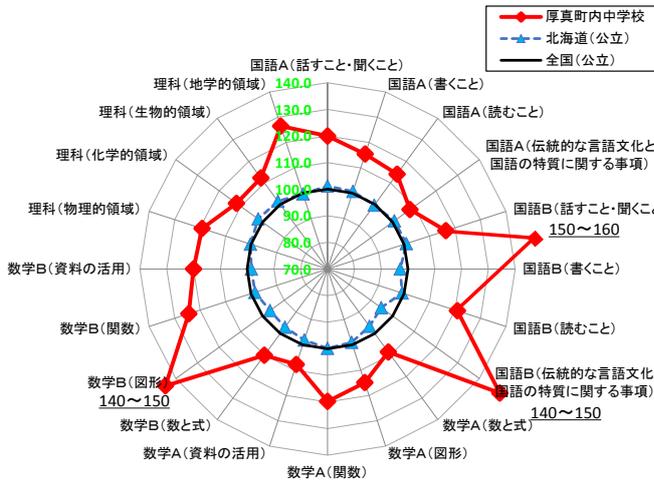
【厚真町の学力向上策】

- ◎ 大学教授を定期的に招聘した町全体による「厚真授業づくり研修会」の実施
- ◎ 学力向上推進委員会を通じた学力向上策の交流と地域連携の推進
- ◎ 標準学力検査を通じた課題の把握と学び直しの支援(Web支援システムの活用)
- ◎ 少人数、T・T指導の支援(加配:1校、町費:1校)の実施
- ◎ 長期休業中に各学校が実施する学習会におけるスクールパス活用などの支援
- ◎ 全学年を対象とした学習アンケートの実施、児童生徒の学習上の課題の把握と各学校間の情報共有

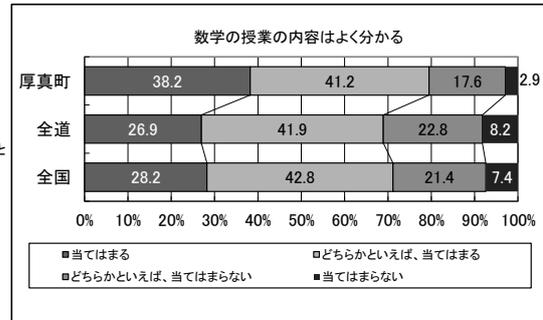
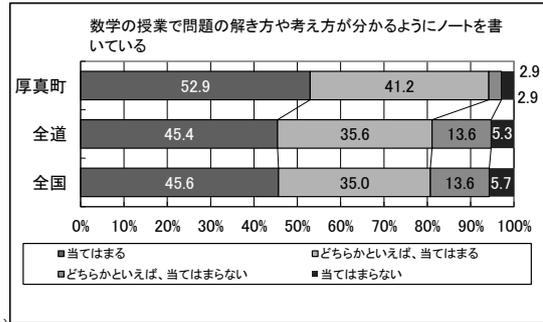
■厚真町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:34人)

【教科全体の状況】

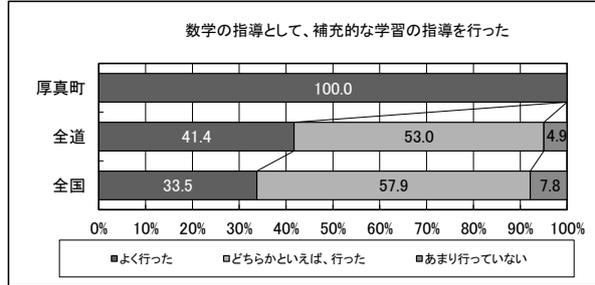
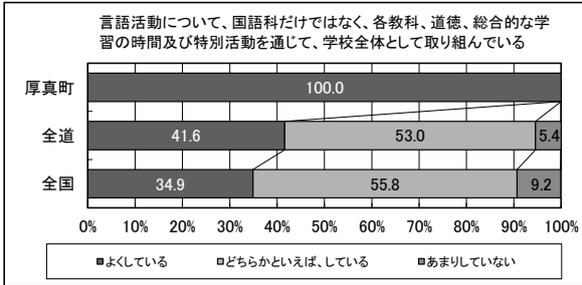
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・B、数学A・B、理科において、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語A・Bでは、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。 ○ 全ての学校が、「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。

【厚真町の学力向上策】

- ◎ 大学教授を定期的に招聘した町全体による「厚真授業づくり研修会」の実施
- ◎ 学力向上推進委員会を通じた学力向上策の交流と地域連携の推進
- ◎ 標準学力検査を通じた課題の把握と学び直しの支援(Web支援システムの活用)
- ◎ 長期休業中の学習支援(学生ボランティアの派遣:1校)の実施
- ◎ 長期休業中に各学校が実施する学習会におけるスクールバス活用などの支援
- ◎ 全学年を対象とした学習アンケートの実施、児童生徒の学習上の課題の把握と各学校間の情報共有